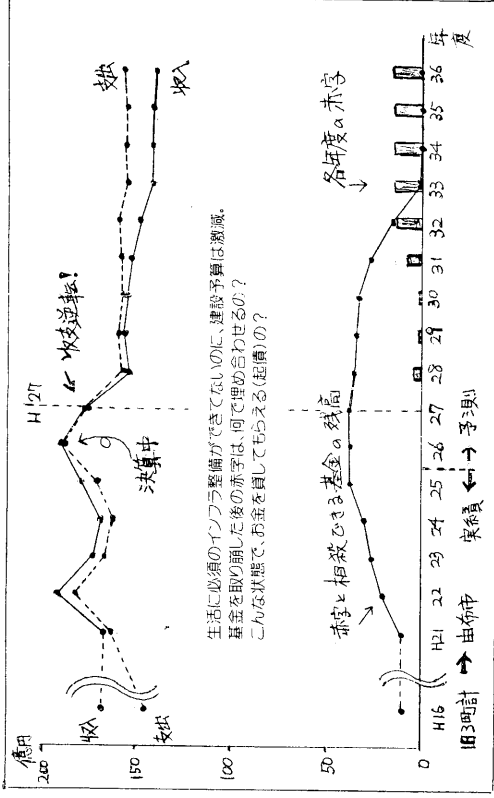


# 合併特例は“麻酔薬”

(交付金・特例債)

# 由布市は後遺症にどっぷり

## 一般会計は来年度から赤字! 基金を取り崩して、6年後には底をつく



市のホームページにある「中期財政収支の試算」(TOP)を政情情報>財政>中期財政)をもとに、表とグラフを作ってみました。(比較のため、H25年度のみ、合併時の「新市建設計画」の数字を記載) [今、合併すれば、特例措置がある] [人件費や庁舎費が節約できる] [住民サービスは下げません]等々。そんな市長や議員が市政を動かしてきた9年間。約束は守られてきたでしょうか? 生活実感と合わせて、皆さんが読み取ってください。

### 水道や道路は手つかず! それでも赤字...

基金を取り崩した後の赤字は、いったいどうするの? 扶助費はうなぎのぼり。投資的経費を抑えても、差し引き収支のマイナスは年々増えいきそう。その他経費に含まれる特別会計への繰出は又青天なんだろうか?

### 家計なら当然の節約と、費用対効果の検証が重要!

中期財政収支の試算 (H16年9月公表) (H17年10月公表) をもとに作成

### ※一般会計

上水道・簡易水道・介護保険 国際など、特別会計を除く

住民税・固定資産税 → 借入金 → 職員・議員など 臨時職員は「その他経費」 → 保育時・生活保護など → 借金の返済と利息 → 建設事業など → 水道・国保・介護など → 特別会計への繰出を含む

年度	(H13期計)		実績 ←												→ 予測 (H26年9月時)		単位:億円	
	16	17	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		35
地方交付税	36	36	39	39	39	39	40	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	38
国庫支出金	12	12	29	23	22	20	15	26	23	21	21	21	21	21	21	21	21	21
県支出金	15	15	12	17	13	13	15	10	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13
地方債	10	16	34	19	18	25	14	38	31	11	16	15	11	6	6	6	6	5
その他	36	24	21	21	19	22	17	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18
借入金	169	191	174	170	180	141	190	177	153	157	155	153	148	141	142	141	141	140
収入	35	34	34	34	33	32	32	31	30	29	29	29	29	29	29	29	29	29
支出	15	24	29	30	32	33	33	34	35	36	37	39	40	41	42	44	45	46
経費	23	17	27	19	19	17	19	20	22	22	22	22	22	22	22	22	21	20
その他経費	51	59	75	56	51	54	52	54	50	50	47	50	50	51	51	51	51	51
繰出合計	145	163	182	167	161	172	141	189	177	156	156	159	160	155	156	155	155	156
差引収支	24	6	9	7	10	8	1	0.3	-3	-0.7	-0.6	-7	-13	-14	-14	-15	-15	-16
財政調整基金	6	8	18	24	28	33	33	34	31	30	29	29	29	29	29	29	29	29
特定目的基金	4	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
基金合計	18	21	45	50	54	62	63	63	59	58	58	53	40	27	25	26	26	26

年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
公債費	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
減価償却	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
特定目的基金	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
人件費	35	34	34	33	32	32	31	30	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
扶助費	15	24	29	30	32	33	33	34	35	36	37	39	40	41	42	44	45	45	45	45	45
借金の返済	22	17	27	19	19	17	19	20	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	20	19	19
建設事業	23	17	27	19	26	35	26	49	40	17	19	18	18	11	11	11	11	11	11	11	11
水道・国保・介護	51	59	75	56	51	54	52	54	50	50	47	50	50	51	51	51	51	51	51	51	51
繰出合計	145	163	182	167	161	172	141	189	177	156	156	159	160	155	156	155	155	155	156	156	156
差引収支	24	6	9	7	10	8	1	0.3	-3	-0.7	-0.6	-7	-13	-14	-14	-15	-15	-15	-16	-16	-16

・公債費(約20億円)のうち約2億円が利息(元本返済は約18億円)  
 ・財政調整基金「減価償却基金」は一般会計の赤字と相殺できるが、「特定目的基金」はできない  
 ・特定目的基金(約25億円)のうち、約19億円が地域振興(約18億円)H22の合併特例債の残存(約1億円)による返済中、返済が滞った分だけ使える  
 ・人件費はH25年度と比べて、新市建設計画では28億円だったが、実際は33億円(※3を考慮)

※1 H19年に、所得税の一部を住民税に振り替える制度改正があった。合併後の地方税収入増は、その振替分(3億円余)を含んでいる  
 ※2 合併時に予測していたH25年度の収支(延長前の新市建設計画より)  
 ※3 震災関連の借入金返済、正職員等の給与は2.5~7%減額(平均でH21Hは3%、約0.4億円、H25Hは4.5%、約0.7億円)

### 『よそ者、ばか者、若者』が町を元気にする

市長さんは、武内・谷ほか市民有志に、「島根県の海士町の取り組みを勉強する」と約束してくれた。海士町は、全国から取材や視察が殺到する地方創生の先進地。十年前ほど前、民間出身の町長のもと、職員給与を削減して活性化の元手を繰出した。住民もサービスカットを受け入れた。Uターン・Uムーブの若者を積極的に受け入れて様々な事業を起こし、経済を活性化させて、財政再建中。給与(ラスパイズ指数)は72.4(H17 全国最底)から98.8(基準値100)に回復した。

### 家計なら、もっと働いて収入を増やし、節約する

昨年9月議会。監査委員は市の事務に「最初に正しい手順を踏んで仕事を進めないで、後から対応に追われ、他の本来業務ができていない。残業代も増える」と指摘した。地方自治体が「もっと働く」「節約する」というのは、「多やろ」としての「仕事」から「先」10年先に地域や財政にどう影響するのか? 想像力を働かせたいと思う。

何より、住民の尊厳や暮らしが守られなければならない。そんな市役所なら住民も協力する。必要なら我慢もできる。

### 人口減・高齢化を見据えて、効果のあがる政策を

合併した頃は35400人。2035年には28800人に減る。高齢化や不景気の中、市の同10年の税収予測は減らない。見通し、甘くない? 少ない年金でも在宅で暮らせて、健康寿命を維持できる生活環境を整えてほしい。地域包括ケアと自主防災、そして農業が鍵♪

### 狭間ミニポートピアの損得、しっかり考えて

高齢者や主婦も参加しやすい仕組みをつくらう。住民も地域も経済も元気になり、医療福祉コストを抑制できる。そうなれば、大分市に近い由布市は、子育て世代にとっても魅力的だ。農業やテレワークにも、若者の関心は高い。

### 住民のための仕事をすすめる職員さんが働きやすい市役所に

地方自治には、陳情・請願・住民監査請求など、ひとりでも、いつでも、住民がでる可能性がある。でも、その前に、困っていることや対策案を担当に相談するのが大切。そう思つて、ひとりの住民としてできることをやってきた。たいていは迷惑がられるけど、理解してくれる職員さんもいます! みなさんも、窓口で話してみませんか。素直なサービスや節約のアイデアが生まれるかも♪

### まず実態を知ろう。井戸端で話し合おう。諦めるのは早い。

選挙が終われば市長と議会にお任せしていただき、「言つてもつまらん」と諦めては、もつたない。そのことを皆さんにお伝えしたくて、このチラシを作りました。印刷・折込の費用は、知合いの皆さんが応援してくださいました。ありがとうございます! !

【文責】湯布原町丸1 谷 千鶴  
 080-5205-1356  
 疑問や思いついたことをブログに書いています(名前を隠す) 2015年9月